

平成30年度 学校経営計画書

石川県立金沢錦丘中学校

校長 村上 徹

1 教育目標

高い志を育み、豊かな心と知性、健やかな身体を培い、地域や国家、国際社会の持続可能な発展に貢献できる人材を育成する。

2 目指す生徒像

- (1) 将来の夢や目標に向けて、たくましさを持って粘り強く努力する生徒
- (2) 規律ある学校生活のもと、礼儀正しく、人を大切にすることができる生徒
- (3) 心身ともに健やかで、他と協調しながら、自主的・実践的に行動できる生徒

3 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 基本的な生活習慣を身に付けている生徒が多く、ルールやマナーを守るなど場に応じた行動ができる生徒が多い。
- ② 生徒は明るく楽しく学校生活を送っており、学習にも意欲的に取り組み、自分の考えを豊かに表現できる生徒が多い。
- ③ 学習や部活動等に真剣に取り組む高校生の姿を身近に見ることで、意識が向上し、自己の目標の実現に向けて努力しようとする姿勢に繋がっている。
- ④ 英語検定や漢字検定などの資格取得や各種コンテストに意欲的に挑戦する生徒が多い。
- ⑤ 学習内容に発展的な内容を多く含むため、理解度に個人差が見られる。

(2) 生徒に関する目標

- ① 「自らのキャリアを常に意識できる生徒」を育成する。
- ② 「自律的に学び続ける生徒」を育成する。
- ③ 生徒一人一人の良さを引き出し、認め、伸ばす教育を推進し、「自己有用感の高い生徒」を育成する。
- ④ 高校生や大学生等と交流する場を設定することで、6年間を見通して自分を高めようとする生徒を育成する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 全教職員が6年間を見通した中高一貫教育校としての学校運営を理解し、組織の一員としての当事者意識を持って、教育目標の実現に向けて積極的に学校運営に参画する。
- ② 教育職員としての実践的指導力を高めるための自己啓発はもとより、OJT機能を十分に発揮して、組織的に授業力、生徒指導力の向上に努める。
- ③ 生徒一人一人の自己実現のために、6年間を通して継続的、計画的な教育ができるよう中高のより良い接続の在り方を研究する。
- ④ 学校研究を中心に指導方法や指導体制の工夫改善に努めるとともに、意図的・計画的な教育実践を通して強く、たくましく生きていく力を育成する。
- ⑤ 教職員の働き方や業務改善に関しての意識改革を図るとともに、継続的に評価・改善を行っていく。

4 今年度の重点目標

- (1) 中高一貫教育校の特長を生かし、学び方や生き方の質を高め、一人一人の良さを引き出し、認め、伸ばすための工夫・改善を図る。
- (2) 道徳教育やキャリア教育の充実及び積極的な生徒指導の推進を通して、高い志と人を大切にできる豊かな人間性、主体的に行動できる強い心を持った生徒を育成する。
- (3) 学校研究のより一層の深化・充実を図るとともに、自律的な学びを通して、たくましさ粘り強さを伴った確かな学力を育成する。
- (4) 教職員の働き方や業務改善に関しての意識改革を図るとともに、学校経営について積極的に情報を公開し、安心して学べ、信頼され、県民からより選ばれる学校づくりを行う。